

# 諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成21年 7月

(平成21年 6月末調査)

平成21年7月21日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫**  
**経営相談室**

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【5月】	諏訪公共職業安定所管内	0.35倍	△0.75ポイント
手形交換高【6月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	10,135枚	△2,250枚
	金 額	12,021百万円	△4,642百万円
	うち不渡り	17枚	+12枚
	発生状況	13,817千円	+10,620千円
電力使用量【6月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	39,996 MWh	△4.7%
	高压電力計	90,747 MWh	△14.5%
	合 計	130,743 MWh	△11.7%
車庫証明取扱件数【6月】(諏訪地方合計)		966件	△6.6%
新設住宅着工件数【21年4月～5月】(諏訪管内)		163戸	△43.9%

□本文は、当金庫取引先の約120社へのヒアリング調査による取りまとめ。

## 地域の概況

### ●製造業

自動車関連の下請企業の受注状況は、ハイブリット車向けで繁忙の企業がみられるものの、一般自動車向けを含めた総体での回復感はまだ弱い状況である。金属製品加工でも、ハイブリット車向けが増産となっている企業がみられる。デジタルカメラ関連企業では、親会社からの従来品の受注は幾分回復してきたものの新製品の動きが鈍いとの声がきかれる。工作機械・専用機は、総体の受注水準は引き続き低調であるも一部の機種では受注の回復傾向もきかれる。

地域製造業の受注は、親会社の在庫調整の進展などから底打ちはしたものの回復力は弱く、前年同月比での売上状況は4割～5割減少のまま推移している企業が多くみられる。

### ●商業

諏訪地方の6月の天候は、10日ごろに梅雨入りし曇りや雨の日が多くなった。

夏物衣料品ではTシャツなどの低価格衣料の動きは堅調であるも、バーゲン前の買い控えがみられるなど総体では引き続き低調に推移している。自動車販売では、ここ数ヶ月間の前年同月比約2割減の状況から、6月には前年同月比△6.6%減へとエコカー減税の効果から減少幅は縮小し、前月比では152台(+18.7%)増加した。食料品は、小分けパックや低価格品の売れ行きは良く来店客数は維持している店舗が多いものの、商品単価と客単価の落ち込みは続いている。

お中元コーナーでは、法人需要の弱含みなどから出足は遅くなっており、売れ筋価格帯が低下しているとの声がきかれる。

## ●観光業

例年6月は、梅雨や5月の大型連休と7月下旬からの夏休みの狭間で入り込み客は低調となっている。夏休み等の予約状況は例年より出足が遅くなっており、また「ETC休日割引」の効果があるとする声は引き続き少ない。

諏訪大社の参拝客数は約40千人と前年同月比約13千人減少しており、各ホテル旅館の宿泊数は団体客の取り込み状況などから宿泊者数を伸ばしている先と大きく減少している先に分かれている。

また、景況の悪化から法人関係の宴会が減少しており、ビジネス客の減少も続いている。

## ●建設業

市町村の6月の発注工事は、建築工事11件316百万円、土木工事・下水道工事88件460百万円、その他工事18件172百万円の合計117件949百万円で、前年同月比で件数は31件増加したものの、契約金額は△35百万円の減少となった。県関係の6月の公共工事（地元業者受注分）は7件143百万円で、平成21年4月～6月の累計契約は20件355百万円と前年同期累計比で件数は4件増加したものの、契約金額は△115百万円の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の5月の新設住宅着工件数は84戸で前年同月比では+2戸(+2.4%)の増加となったが、これまで御柱祭の前年にみられた個人住宅の新築や改築等の掛け込み需要が今年は弱いとの声がきかれる。

## ●雇用

諏訪地域の5月の有効求人倍率は、前年同月を0.75ポイント下回り0.35倍と対前年比で20ヶ月連続して低下している。また、長野県の同倍率は0.39倍と全国平均の0.44倍を引き続き下回った。

諏訪地域の5月の新規求人（全数）は685人で前年同月比△546人（△44.4%）の減少、新規求職者数は1,046人で前年同月比+192人（+22.5%）の増加となっている。新規求人数は、地域の主力産業である製造業全体で74名と対前年同月比△263人（△78.0%）の大幅な減少となっている。

また、1件10人以上の人員整理は1件39人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は166人と前年同月より116人増加、前月より△340人減少となった。

なお、地元企業では夏季賞与の大幅カットや支給自体の見送りをとする企業が多くきかれる。

## 業種別動向

### 1. 電気機械

プリント基板	納入先の在庫調整等から底打ち感がきかれるものの、引き続き低水準の推移となっている。
コンデンサー	受注は減少している。
プリンター	大型プリンターは前年同月比では大幅な減産が続いている。
コンダクター・リレー	受注は概ね安定した推移となっている。

### 2. 輸送用機械

自動車	ハイブリット車向けで繁忙の企業がみられるものの、一般自動車向けを含めた総体での回復感はまだ弱い状況である。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は、底打ち感がきかれるものの減少したまま推移している。
船外機	受注状況は前年同月比では大幅に減少しているも、前月比では増加に転じてきている。

### 3. 一般機械

工作機械・専用機	総体の受注水準は引き続き低調であるも、一部の専用機では受注の回復傾向もきかれる。
搬送用機械	製造業向けの受注は引き続き低調である。
金型	新規金型の動きは鈍い。
ダイカスト	ガス器具向けは引き続き堅調であり、自動車ではハイブリット車や小型車向けで幾分動きがきかれる。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの5月の生産台数は770万台で前月比△9.0%減少、前年同月比△26.2%減少となっている。5月の出荷台数は国内出荷60万台、海外出荷743万台で、出荷台数全体では前月比△10%減少、前年同月比△23.2%減少となっている。 親会社から従来品の受注は幾分回復してきたものの、新製品の動きが鈍いとの声がきかれる。
プロジェクター	国内生産は減少傾向であるものの、レンズユニット関連で受注が増加した企業がみられる。

レンズ  
総体では受注は減少しているものの、足元の受注が増加している企業がみられる。

## 5. 織 維

ニット  
店頭での売れ行きが低迷しており、サンプル生産や内覧会での成約率が落ちているとの声がきかれる。

## 6. 食 品

寒天  
味噌  
地元での個人向けの売上が引き続き増加している。  
需要の減少期であるが、家庭向けは比較的堅調である。

## 7. 製 材

諏訪地方の5月の木造住宅着工件数は70戸で前年同月に比べ+16戸増加したものの、基調としては低調に推移している。

## 8. 建 設

公共工事  
6月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所1件、施設課関係工事1件、林道治山工事関係5件の合計7件、契約金額143百万円となっている。平成21年4月～6月の累計契約は20件355百万円と前年同期累計比で件数は4件増加したものの、契約金額は△115百万円の減少となった。

市町村の6月の発注工事は、建築工事11件316百万円、土木工事・下水道工事88件460百万円、その他工事18件172百万円の合計117件949百万円で、前年同月比で件数は31件増加したものの、契約金額は△35百万円の減少となった。

民間工事  
諏訪地方の5月の新設住宅着工件数は84戸で前年同月比では+2戸(+2.4%)の増加となった。利用関係別では、「持家」が前年比4戸増加の63戸、「貸家」が前年比12戸減少の10戸、「分譲」が前年比11戸増加の11戸となっている。  
これまで、御柱祭の前年にみられた個人住宅の新築や改築等の掛け込み需要が今年は弱いとの声がきかれる。

## 9. 商業

諏訪地方の6月の天候は、10日ごろに梅雨入りし曇りや雨の日が多くなった。

夏物衣料品ではTシャツなどの低価格衣料の動きは堅調であるも、バーゲン前の買い控えがみられるなど総体では引き続き低調に推移している。自動車販売では、ここ数ヶ月間の前年同月比約2割減の状態から、6月には前年同月比△6.6%減へとエコカー減税の効果から減少幅は縮小し、前月比では152台(+18.7%)増加した。

お中元コーナーでは、法人需要の弱含みなどから出足は遅くなっており、売れ筋価格帯が低下しているとの声がきかれる。

衣料	低価格衣料の動きは堅調であるも、バーゲン前の買い控えや高額衣料の不振がきかれるなど衣料総体の売れ行きは低調である。
食料品	来店客数は維持している店舗が多いものの、商品単価と客単価の落ち込みは続いている。小分けパックや低価格品の売れ行きは良い。
家電製品	薄型TVや冷蔵庫等のエコポイント対象商品の売れ行きは順調である。
自動車	諏訪地域の6月の車庫証明件数(軽自動車除く)は966台で前年同月比△68台(△6.6%)とエコカー減税等の効果から減少幅は縮小し、前月比では152台(+18.7%)増加した。
ホームセンター	園芸用品の動きは安定しており、生活用品では価格の安いPB商品へのシフトがきかれる。

## 10. 観光

例年6月は、梅雨や5月の大型連休と7月下旬からの夏休みの狭間で入り込み客は低調となっている。夏休み等の予約状況は例年より出足が遅くなっており、また「ETC休日割引」の効果があるとする声は引き続き少ない。

諏訪大社の参拝客数は約40千人と前年同月比約13千人減少しており、各ホテル旅館の宿泊数は団体客の取り込み状況などから宿泊者数を伸ばしている先と大きく減少している先に分かれている。また、景況の悪化から法人関係の宴会需要の減少がみられる。

上諏訪温泉	総体の宿泊客数は前年並みであるが、団体客の取り込み状況等により宿泊者数を伸ばしている先と大きく減少している先に分かれている。法人関係の宴会の減少がきかれる。
蓼科・白樺湖・車山方面	新型インフルエンザの影響による団体客のキャンセル等があり、宿泊者数は前年同月比△10%減少したホテル旅館が多い。
下諏訪温泉	マスターズレガッタ関係の宿泊があったものの、総体の宿泊者数は前年並みの模様である。
諏訪大社	上社・下社を合わせての参拝客数は約40千人と、団体客は比較的堅調だったものの個人客の減少などから前年同月比約13千人(△24.6%)の減少となった。

